

日本・シンガポール外交関係樹立50周年に際する安倍総理メッセージ

リー・シェンロン首相閣下及びシンガポール共和国国民の皆様へ

我が国とシンガポール共和国との外交関係樹立50周年に当たり、日本国民及び日本政府を代表して、リー・シェンロン首相閣下及びシンガポール共和国国民の皆様と共に、心から喜びを分かち合いたいと思います。

両国は、今からちょうど50年前の1966年4月26日に外交関係を樹立しました。それ以来、半世紀の間、友好協力の絆が着実に強化されてきたことを大変喜ばしく思います。今日の良好かつ緊密な日本・シンガポール関係、そしてアジアの発展を語る上で、シンガポールの建国の父であり、アジアが生んだ偉人である、リー・クアンユー元首相の貢献を忘れることはできません。昨年逝去されたリー元首相は、長きにわたり、日本・シンガポール関係の強化に顕著な功績を挙げられました。この功績に対して、桐花大綬章が贈られることとなったことを、大変嬉しく思います。

1965年の独立以降、日本が、シンガポール独立後の最初の投資国だったことに象徴されるように、貿易・投資、更には、ODA等を通じて、シンガポールの発展に寄与できたことは、大きな誇りです。その後の両国の経済関係の深まりは、2002年の我が国にとって初の経済連携協定である「日本・シンガポール新時代経済連携協定」の締結で新たな節目を迎え、今日の緊密な関係を築くに至っています。TPP協定についても、共に貿易立国として、早期発効に向けて議論をリードしていきたいと思います。政治・安全保障分野での協力や文化・知的交流も着実に進展しており、基本的価値を共有する重要なパートナーとして、両国は、二国間関係のみならず、地域や国際社会の諸課題でも連携して対処しています。

しかし、我々はこれらの成果に満足してはなりません。両国は、短期間で奇跡的な経済発展を成し遂げた実績、優れた人的資源と質の高いインフラなど多くの共通点を有し、また、自由、民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値を共有しています。両国は、これらを活かして、両国関係を更なる高みに引き上げることが可能です。

50周年の記念すべき日に合わせ、バラクリシュナン外務大臣が初訪日されたことを歓迎します。これまで5回に及ぶ首脳会談を行い、緊密な意思疎通をしてきているリー首相を、9月に日本で再びお迎えし、この節目の年を共に祝えることを楽しみにしております。50周年の一年間を通じたハイレベルの訪問が、今後の二国間関係の素晴らしいスタートとなると確信しています。

この記念すべき50周年を契機として、日本とシンガポールとの関係が次の半世紀、更にその先まで、更に飛躍し、一層強固な友好関係が築かれていくことを心より祈念し、私のメッセージといたします。

平成28年4月26日
日本国内閣総理大臣 安倍 晋三